

15 新規学卒者の採用と定着のポイント

1. 若年者労働力不足の到来

本県の人口は1956年の135万人をピークに、1970年代の一時期を除いて、ほぼ一貫して減少を続けています。

2045年には、人口が2015年の102万2千人から60万1千人へ減少すると予想され、生産年齢人口(14歳から64歳)に至っては57万から25万6千人へと、総人口の減少率を上回るペースで減少していくと見込まれています。

本県を取り巻く環境は、高齢化による社会保障費の増加や、労働力の大幅な減少による経済活動の停滞など、これまでになかった厳しい局面を迎えることが予想されます。

こうしたことから、秋田労働局・県内各ハローワーク・秋田県においては、引き続き若年者の就職環境を整備し、新卒者及びAターン希望者の県内就職促進を積極的に推進してまいりますほか、事業主の皆様には長期的な視野で若者の戦略的かつ定期的な採用を考えていただきますように雇用に関する様々な情報や各種助成金及び奨励金制度のご案内などにより企業活動を支援してまいります。

